

兵庫県内の水道技術連携「令和2年度全体会」に関するアンケート結果

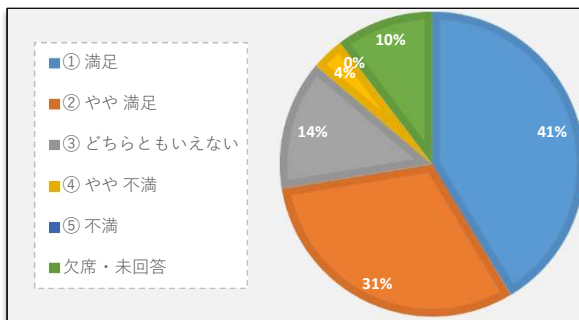
2021/3/3

【回答者情報（職種別人数）】 (人)

技術職（土木建築系）	15
技術職（機械設備系）	1
事務職	13
計	29

（問1）ワークショップ（意見交換・事例紹介）の内容・構成について

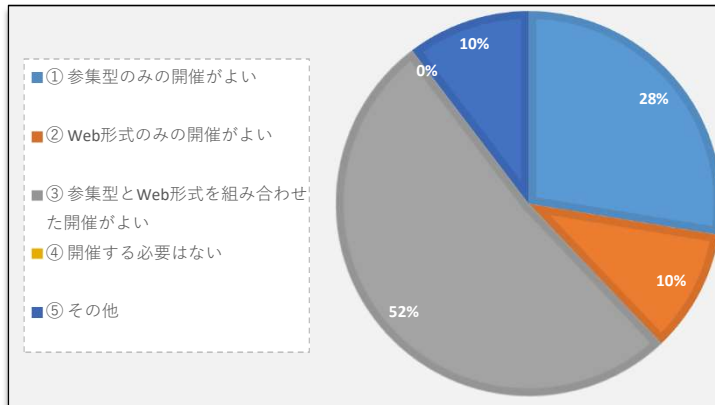
回答	件数	割合(%)
① 満足	12	41%
② やや 満足	9	31%
③ どちらともいえない	4	14%
④ やや 不満	1	3%
⑤ 不満	0	0%
欠席・未回答	3	10%
	29件	100%



回答	理由
①	<p>各事業体の事例を知れたこと。 わかりやすかったです。 多数の事業体の発表が聞けて情報共有できたこと。特に管路・施設更新、アセットマネジメントが、内容も充実していて良かった。 オンラインによる実施の中でも、事前アンケートによる各事業体の関心事項をピックアップしていただき、その事項に取り組まれている事業体の取り組み状況を多く知ることが出来たため。 各事業体も、共通な課題があることを再認識することができた。また事例紹介については、今後取り組むうえで、非常に参考となった。 限られた時間の中で各市の発言もあり、初のWEB開催の試みであることを考慮するとよい内容であった。 県内の先進事例について、知ることができた。 各項目の質問者、回答者が事前に整理されており、画面の切り替えもスムーズに行えていたため。 関心のある議題が多くあったので、情報を取得できた。</p>
②	<p>各自治体での取り組み内容を知ることが出来、参考になった オンラインでの開催にもかかわらず、参集型の開催に近い内容であった。 Web形式という制約を考えると、十分な内容であった。ただし、時間が少し長かった。 他事業体の事例等を聞くことができ、参考になったため 先進地の事例紹介は今後の事業計画で参考になったが、意見交換はTV会議ということもあり、限られた事業体の意見しか公聴できなかったため。 勉強になった</p>
④	<p>当市の課題解決になるような意見や事例紹介が無く参考にはならなかった。</p>
⑤	<p>なし</p>

(問2) 次年度以降の開催方法について

回答	件数	割合(%)
① 参集型のみで開催がよい	8	28%
② Web形式のみで開催がよい	3	10%
③ 参集型とWeb形式を組み合わせた開催がよい	15	52%
④ 開催する必要はない	0	0%
⑤ その他	3	10%
	29件	100%



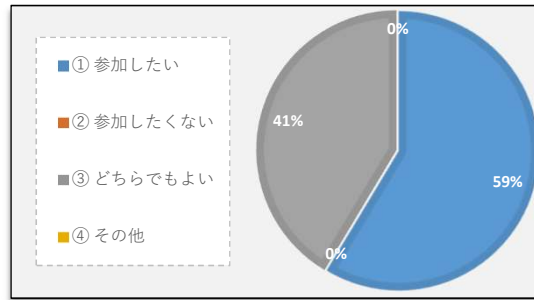
回答	コメント
①	コロナ禍が収束すれば再び参集型にするほうがよいと思います。
③	意見交換においては、参集型にてグループ等での実施の方が直接話すことが出来る点で、有意義なものと考えます。 内容によって方法を決めればよい。各市町の意見や質疑応答を求める場合は参集型、今回のように説明中心、意見したい方のみの場合はWeb形式でよいと考える。
⑤	参集型を原則としながら、参集が困難な団体はWeb形式で参加すれば良い。 基本は参集型による開催が望ましいが、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて開催方法(Web形式等)を考えるのがよい。 事例紹介であればリアルタイムの参加でなく、Web上で各自が見に行きたい時に見に行けるようにしてもらいたい。

(問3) 問2で回答した理由について ※複数選択可

回答	件数
① 顔の見える関係が構築されるため	11
② 時間的・距離的制約が無くなるため	13
③ 意思疎通が図りやすいため	9
④ 参加環境が整っていないため	1
⑤ 新しい取り組みであるため	6
⑥ その他	5
	45件

(問4) 課題解決に向けたワーキンググループや意見交換会などの場への参加について

回答	件数	割合(%)
① 参加したい	17	59%
② 参加したくない	0	0%
③ どちらでもよい	12	41%
④ その他	0	0%
	29件	100%



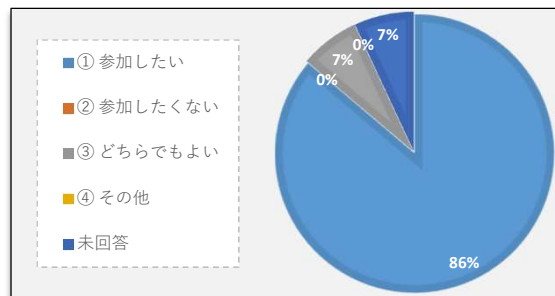
(問5) 今後、現場見学会等のオンライン研修を企画したいと考えていますが、Webを活用した行事への参加について

回答	件数	割合(%)
① 参加したい	17	59%
② 参加したくない	0	0%
③ どちらでもよい	12	41%
④ その他	0	0%
	29件	100%



(問6) 技術連携ネットワークでは、各事業体が抱えている課題に於いて、「気軽に相談できる環境の整備」が重要と考えていますが、その必要性について

回答	件数	割合(%)
① 参加したい	25	86%
② 参加したくない	0	0%
③ どちらでもよい	2	7%
④ その他	0	0%
未回答	2	7%
	29件	100%



(問8) その他、全体を通してご意見等あればご記入ください。(質問可)

ご意見等

机上だけの研修会と比較し、この水道技術連携は顔の見える研修会として大変有意義な研修会であると認識しています。今後とも是非続けていただきたく、また参加もしていきたいと考えています。

WEB形式の場合、使える機器が限られているため会議に参加できない可能性がある。

(今回、機器を他部署が使用しており参加が出来なかった)

また、WEB形式の場合、映像が途切れたり、音声の音割れ等聞き取りが出来なくなることもある。

他都市の事例というのは知識を広げるためにとても有用なことです。

事務局等にはご負担が強いることとなりますが、続けていただければと思います。

また、今回Web形式で行いましたが、やはりワークショップは顔を突き合わせて行ったほうが効果的かなという

印象でした。逆に講演会はWeb形式でやっていただいたことで、複数名が聴講できましたので、

そのあたりを組み合わせていただけるとありがたいという印象でした。

Web形式の開催は移動の時間が省略できてよかった。

ワークショップのなかで県内の先進事例を紹介してもらえたことは大変参考になった。

今回の取り組みは、「全体会」参加への距離的なハードルを下げる素晴らしい取組と感じました。

今後コロナ禍が終息したとしても、今回の開催形態をベースに県内各所のサテライト会場を繋ぐ「全体会」開催の取り組みに期待します。